

Japan Catholic Council for Justice and Peace
2-10-10 Shiomi, koto-ku, Tokyo 135-8585 Japan

TEL. 03-5632-4444
FAX. 03-5632-7920

日本カトリック正義と平和協議会
〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10

内閣総理大臣 安倍晋三殿
法務大臣 谷垣禎一殿

Prot JP-d12-03
2013年2月25日

日本カトリック正義と平和協議会
「死刑廃止を求める部会」
部会長 ホアン・マシア

2月21日の3名の死刑執行に抗議します

日本カトリック正義と平和協議会死刑廃止を求める部会は、2月21日、金川真大さん（東京拘置所）、小林薫さん（大阪拘置所）、武藤（現姓加納）恵喜さん（名古屋拘置所）に死刑が執行されたことに深い悲しみと怒りをおぼえ、強く抗議します。

私たちはこれまで、死刑の執行停止を繰り返し強く訴えてきました。

それは、「人間が人間を殺す」死刑は、「新たな殺人」であり、社会に暴力的メッセージを発するものであるからです。現に、金川死刑囚は「自殺はどんな方法であれ、自分の体に痛みを加える。そんな勇気がなかったので殺人をした」と語ったように、死刑制度を利用した犯罪であり、犯罪の抑止にはつながっていません。

また、死刑制度による取り返しがつかない最大の悲劇は、誤判による無実の市民の生命を奪ってしまうことです。よって公然と行われる死刑は、あってはならない人道上の不正義であり、「人類への犯罪」であります。そして、わたしたちの社会が、罪を犯した人の悔い改めの道を助けていく責任を放棄し、彼らと共に生きる成熟した社会を奪うものです。

私たちは、日本政府がただちに死刑執行を停止し、死刑廃止に向かっている世界の潮流を国民に知らせ、死刑存廃を考える省内勉強会を復活させ、死刑について、真に開かれた国民的議論がただちに開始されることを強く求めます。

なぜなら、死刑は「極めて内政的な問題」ではなく、世界に一人しかいないかけがえのない存在・生命（人間の尊厳）の問題だからです。